

ふるさと創造懇談会

ふるさと創造懇談会を10月30日（木）、11月1日（土）、4日（火）の3日間、町内4カ所で開催いたしました。

今回の広報では、当日お受けしました質問を中心に内容を掲載させていただきます。なお更に詳しい説明を聞きたい方は役場総務財政課までお問合せいただけますと、担当者にお繋ぎいたしますので、お気軽にお問合せください。



「ほろしん温泉への太陽光パネルの設置について」

ほろしん温泉の敷地内に太陽光パネルを設置し、発電した電力をほろしん温泉にて利用いたします。

太陽光パネルの設置工事については、「株式会社力ネカ」が実施し、発電された電力をほろしん温泉が北海道電力の価格よりも安く購入することで試算では、年間約30万円ほど電気料金を圧縮することができます。

また同時に蓄電設備の設置によって、災害時、停電になった場合でも全館ではありませんが、電力を供給することができるといいう「防災面」での効果も期待できます。さらに太陽光利用による「CO₂の削減」という環境面での貢献にも繋がります。

太陽光パネルは、積雪を考え、垂直型のパネルとなっており、地面から2mの高さにパネルを設置する設計となっております。

現在、工事を進めており、11月中の完成を目指し、完成後は速やかに利用できるよう進めたいと考えております。

「携帯電波不感地域通信対策について」

近年、町内でスマート農業技術の導入が進んでおりますが、真布・更新3地区においては、電波が受けられず、スマート農業を使えない状態となっていることから、光回線から電波を飛ばし、中継アンテナで電波を受け取ることでスマート農業技術が利用できるようになります。

利用される方は、実際に利用するトラクターなどに「アクセスポイント」というスマートフォンで受け取ることができる電波に変換する機器を設置して利用していただくこととなります。

ここで使える電波は、「インターネット回線」であり電話を利用することはできませんが、ライン通話などインターネット回線を利用した通話やメールの利用が可能となります。

整備期間については、既に整備に取組んでおり、更新3地区、真布の一部は来年度から、真布の奥については令和9年度からの利用開始を予定しております。

「旧恵比島小学校跡地について」

電力事業を計画している「ジーマックスエネルギー株式会社（東京都千代田区）」という会社から、事業拡大のため探していた土地の条件として旧恵比島小学校跡地が合致していることから、この土地を購入することができないか相談を受けております。

今回、計画している事業は、大型の蓄電池を設置した上で、電力が安い時間帯に北海道電力から電気を購入し、電力を多く使用する時間帯に販売をするという事業です。

総事業費といたしましては、使用できる土地の広さにもよりますが、現計画としては、蓄電池55基のほか、必要となる設備費で約130億円と聞いておりますが、莫大な事業費でありますことから、現在、企業と北海道電力との間で送電線の使用料等の費用面について協議を行っており、この結果、事業採算性が確保できると判断した際に、改めて売買に向けた相談をさせていただきたいということでお話しがありました。

仮に設置することとなった場合、設置工事に2年程度かかることから、令和8年度か9年度には

着手したいとのことですが、旧恵比島小学校跡地に石碑があることから、石碑を避けるように土地の分筆や石碑への進入道路も敷設してもらったとしています。

また、この蓄電池設備を設置することで電磁波等の影響により身体に何らかの害を及ぼすことは医学的・科学的に無いということを確認しており、安全対策として外周に高さ1.8mほどのフェンスを設置することとなっております。

JR留萌本線廃線後の

代替交通について

以前より関係機関と協議を進めていましたJR廃線後の代替交通につきまして、この度、JR北海道と代替バスに関する協議が整いました。

令和8年4月から深川市までの公共交通機関がバス運行のみとなることから、住民皆さまにご不便をお掛けしないよう、新たに道北バスを加えたバス事業者3社により平日19便、土日祝日13便として、現在のバス便数よりも増便したかたちで、運行いたします。

定期券を購入して乗車される方については、全てのバスにおいて乗車できるよう現在バス事業者と調整を行っているところです。

運行については、観光情報プラザ前と深川駅前を発着場所として運行することとなりますが、朝の沼田発7時30分の便のみ深川西高を終着として運行し、日中の時間帯につきましては、行きも帰りも、深川市立病院を経由して運行いたします。また、朝方と夕方以降の便は、始発から終着まで乗車時間を短縮させるため、速達便として停車する停留所を極力減らして運行いたします。

今後JRのダイヤ改正に伴い深川から札幌・旭川方面への乗り継ぎに合わせて調整後、数分程度変更となる可能性がありますので、運用開始近くになりましたら正式な時刻をお知らせいたします。

バス運賃については、現在のバス運賃（片道650円）を維持して運行することとしておりますが、高校生のお子様を持つ保護者、又は妊娠婦や高齢者、障がい者など現在通院助成を受けられている方につきましては、負担軽減を図ることとしております。

また乗車する方の利便性の向上を図るため、全てのバスで使えるスマホ定期やバスの現在位置や遅延状況をスマホ等で確認できるバス口ケーショシステムを導入することで検討しております。

なお、これらバス購入費用やシ

ステム導入費用を含め、18年間はバス運行にかかる経費を全てJRからの支援金で賄うことで合意しております。

福祉有償車両の

テスト運行について

沼田町社会福祉協議会の事業であります福祉有償車両とは、公共交通機関を他人の介助なしでは利用することが困難な方を対象とした個別輸送サービスです。

テスト運行区間は利用する方の自宅から深川市立病院まで、テスト運行開始時期は、12月中旬から来年3月31日まで毎週水曜日・木曜日・金曜日の週3回の午前・午後の2便の運行としております。

対象の方については、バスやハイヤーなどの公共交通機関を他人の介助なしで乗車することが困難な方に対し、チェックリストにて確認し、事前に申請・登録していただく必要があります。料金は1回当たり2千円（片道千円）になります。

また、専門スタッフが同乗し、乗降までサポートいたします。

最終的には令和8年4月以降の本格運行を目指し、今回テスト運行とさせていただきます。

シルバー人材センター

について

沼田町社会福祉協議会の事業であります、シルバー人材センターについてですが、名称を「みなジョブ」に変更し、高齢者の方だけではなく、20歳以上（学生以外）から幅広い方が登録できるようになりました。

仕事内容は、除雪や草刈り、住宅の清掃など多種多様な仕事がございます。今回登録できる方の年齢を引き下げることによって、皆さまのお力をお借りして助け合いの町づくりを進めたいと考えております。

マッチングまでの流れは、町民の方からお困りごとの相談を受けて、「みなジョブ」に登録しているメンバーが引き受けて依頼者のもとに伺い、対応させていただきます。

またこれからの冬の時期については、「ドカ雪バスターズ」という名称を付けさせていただき、大雪などの際に、緊急的に対応していただける町民の方を募集して、ご対応いただくと、仕組みを作っていくたいと考えております。詳しくは、社会福祉協議会にご連絡願います。